

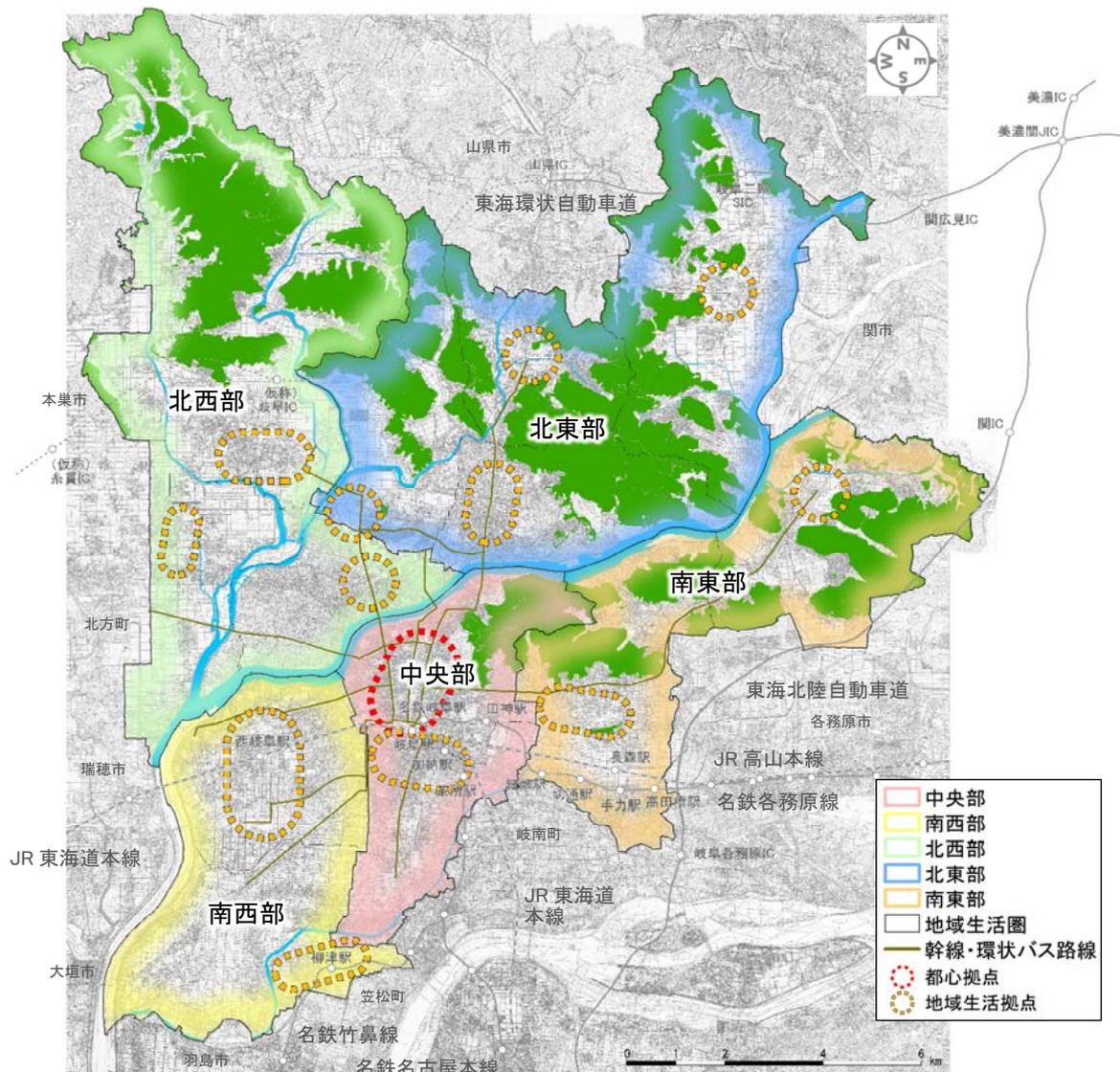
第4章 地域別構想

地域別構想では、第2章、第3章で示した将来都市像「コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市」の実現に向け、個性を活かした多様な拠点の形成と拠点などを公共交通などの交通軸が繋ぎ連携する地域の姿を示します。

地域の設定は、都市計画運用指針により「地形等の自然的条件、土地利用の状況、幹線道路等の交通軸、日常生活上の交流の範囲等を考慮し、施策等を位置づける上で適切なまとまりある空間の範囲」とされています。そこで本市の豊かな自然を象徴する清流長良川や緑あふれる金華山、舟伏山や百々ヶ峰などの山々といった地形に加え、鉄道、幹線道路、東海環状自動車道インターチェンジなどの主要な交通軸を考慮の上、地域における多様な拠点の形成と各拠点などを連携させる交通軸の形成を示すため、下図のとおり市域を大きく5つのエリアに分け、地域の姿を示すこととします。

本市には50の自治会連合会が組織され、各地域の自然や歴史、文化資源などを背景とするまちづくりにおける多様な活動が様々な繋がりの中で行われており、ここで示す5つの地域の区分けはそうした活動の範囲を限定するものではありません。

今後のまちづくりにあたっては、各地域の方向性も踏まえ、市民の皆さんと協働でコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを進めることとします（第5章参照）。



4-1 中央部

1) 地域の概況

本地域の北部は、岐阜駅周辺から柳ヶ瀬、つかさのまち、岐阜公園に至る本市のセンターゾーンを有する、本市だけではなく岐阜連携都市圏の中核的な役割を担う地域です。また、南部には、国道21号などによる広域的な交通の利便性を活かした岐阜市中央卸売市場などの商業・業務の集積地が形成されています。

金華山、長良川、中山道、加納城跡の周辺では、本物の自然・歴史・文化遺産を堪能することができます。



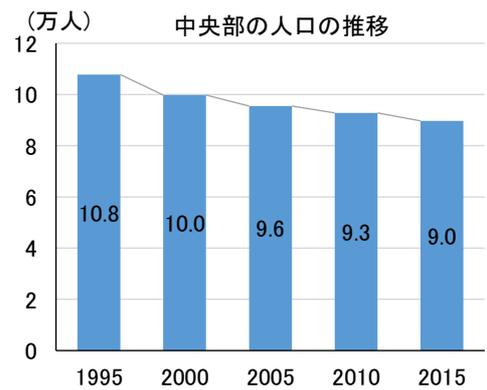
2) 地域の状況

① 人口の動向

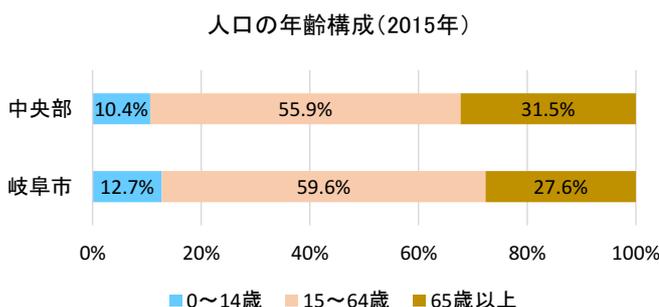
2015年（平成27年）の人口は約9万人です。2010～2015年の増減率は-3.2%で5地域のなかで最も減少が大きくなっています（市平均-1.5%）。中心市街地において市街地再開発事業などの実施に伴う人口の流入はありますが、地域全体では人口は減少している状況です。

一方、地域の平均の人口密度は42.8人/haで市平均（20.0人/ha）を上回り、5地域のなかで最も高くなっています。人口密度が高い地区が中心市街地を取り囲むように分布し、80人/haや100人/ha以上である地区もみられます。

また、2015年（平成27年）において、0～14歳人口の割合は10.4%、65歳以上人口の割合は31.5%で、5地域のなかで最も少子・高齢化が進んでいます。

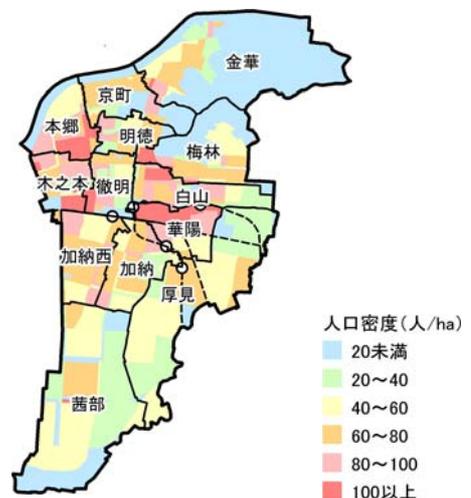


資料：国勢調査



資料：2015年（平成27年）国勢調査

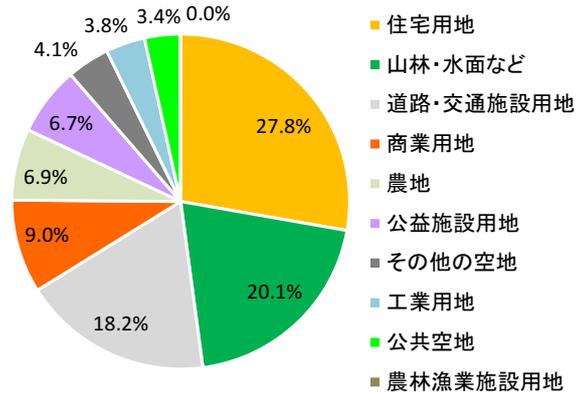
調査区別の人口密度



資料：2017年度（平成29年度）都市計画基礎調査

② 土地利用の状況

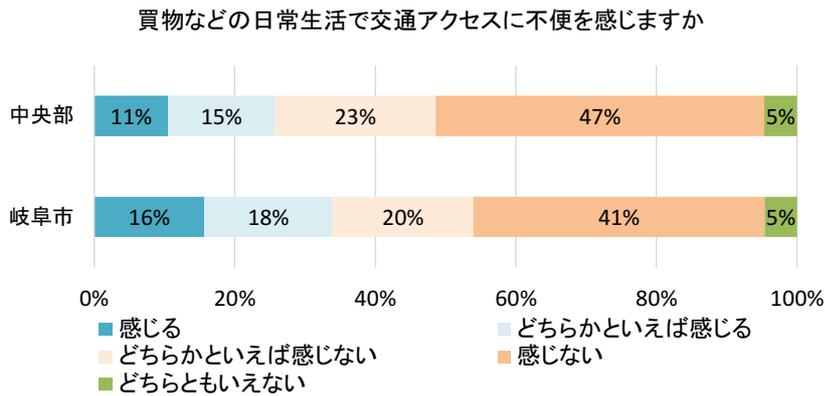
住宅用地や商業用地、公益施設用地、公共空地の占める割合が 5 地域のなかで最大であり、都市的な利用が進んでいます。その一方で、金華山や長良川などの山林・水面などが 2 割程度を占めるなど、まとまった自然環境を有する地域でもあります。



資料：2017 年度（平成 29 年度）都市計画基礎調査

③ 市民意識

買い物などの日常生活での交通アクセスについて、不便を感じている人及びどちらかといえば感じている人は合わせて 26% で、5 地域のなかでは最も少なくなっています。



資料：2020 年度（令和 2 年度）市民意識調査

④ 地域資源

	資源
自然	長良川、金華山、境川、達目洞（ヒメコウホネ）
史跡など	岐阜城跡、加納城跡、ぎふ長良川の鵜飼
寺社	加納天満宮、伊奈波神社、金神社
公園・緑地	岐阜公園、梅林公園、加納公園、金公園、清水緑地
祭・イベント	ぎふ信長まつり、道三まつり



ぎふ長良川の鵜飼



梅林公園



ぎふ信長まつり

3) 地域の都市づくりの方向性

官民一体によるセンターゾーンのさらなるにぎわい創出と
本市を象徴する多様な歴史と文化が薫る、シビックプライドを高めるまち

- 高度で多様な都市機能の集積を誘導し、本市が持続的に発展するためのエンジンとなるセンターゾーンの活力と魅力の向上を図ります。
- 本市における交通の主要な結節点としての機能強化を図りつつ、歩いて楽しい人中心の交通環境の形成に取り組みます。
- 長良川や金華山、御鯡街道、中山道、加納城跡などの本市を代表する自然・歴史資産を守り、活用するとともに、市街地整備などによる新しい都市景観の形成に取り組みます。
- 洪水や土砂災害に対する防災・減災対策を官民の連携により推進し、災害に強いまちにします。

4) 地域の主要な都市づくりの方針

『拠点』の形成

都心拠点	岐阜連携都市圏の中心機能を負担する拠点 ○岐阜駅周辺から柳ヶ瀬、つかさのまちにかけての地域
観光・コンベンション拠点	観光資源を有効に活用した、スポーツ・観光・コンベンションの拠点 ○岐阜公園周辺
複合業務拠点	商業業務の拠点 ○岐阜市中央卸売市場周辺
自然・歴史・景観拠点	本物の自然・歴史・文化遺産や緑・川が堪能できる拠点 ○岐阜公園周辺 ○加納公園周辺
地域生活拠点	生活を支える機能の集積を目指す拠点 ○JR 岐阜駅南口から(都)城南岐大線・(都)城南芋島線にかけての地域

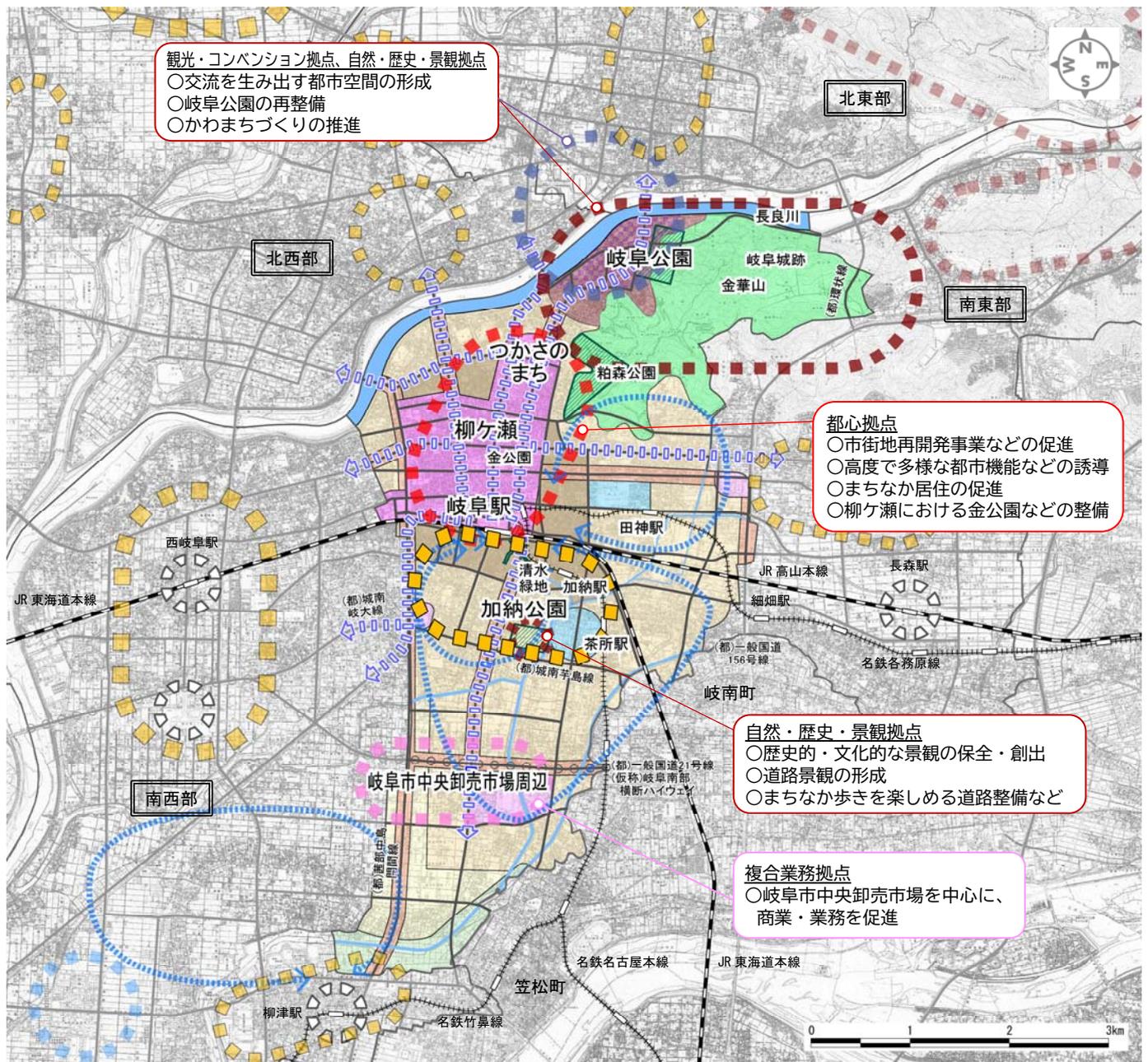
『軸』の形成

広域連携軸	○岐阜南部横断ハイウェイ
市街地・地域間連携軸	○(都)環状線、(都)一般国道 21 号線、(都)一般国道 156 号線、(都)西部中島門間線
公共交通軸	○JR 東海道本線・JR 高山本線 (JR 岐阜駅) ○名鉄名古屋本線・名鉄各務原線 (名鉄岐阜駅、加納駅、茶所駅、田神駅) ○JR 岐阜駅を起点とした幹線バス路線・環状バス路線
自然環境軸	○長良川

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜駅周辺から岐阜公園までをつなぐセンターゾーンにおいて、回遊性を高め、魅力ある都市空間を形成するための取組を進めます。 －都心拠点において、市街地再開発事業や既存施設の利活用の促進などにより、各エリアの個性を際立たせる高度で多様な都市機能の集積を誘導し、都市の顔として魅力ある市街地の形成を目指します。 －民間事業者などによる住宅の供給を促進し、公共交通の利便性や多様な都市機能の集積を活かしたまちなか居住の促進を図ります。 －岐阜公園周辺では、観光・コンベンション拠点及び自然・歴史・景観拠点として、交流を生み出す都市空間の形成を図ります。 ○名鉄名古屋本線鉄道高架化事業に伴い設置される加納駅と茶所駅の統合駅を中心とした周辺地区との一体的な都市づくりを推進します。 ○建築物などが密集した既成市街地では、基盤整備の強化や建物の不燃化などにより良好な居住環境の整備を図ります。 ○自然・歴史・景観拠点の形成を図ります。 －岐阜公園周辺においては、長良川、金華山、岐阜城、鶉飼などの自然・歴史・文化資源の保全に配慮しつつ、まちなか観光の推進など、観光地としての土地利用を図ります。 －加納公園周辺の加納城跡や中山道など、街道を含む地区においては、歴史的・文化的な景観に配慮した土地利用を図ります。
<p>道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広域連携軸となる岐阜南部横断ハイウェイの整備の実現を推進します。 ○スマートシティぎふ推進プロジェクトの実施により、快適で連続的な歩きやすい空間の整備などによる歩きたくなる都市空間の形成や、MaaSの導入などによる気軽に外出できる移動手段の確保などに取り組みます。 ○加納地区において、市民や来訪者がまちなか歩きを楽しめる道路整備などを進めます。 ○加納西地区をはじめとする身近な生活道路について、「車」優先から「ひと」優先の道へ転換し、歩行者・自転車利用者が安全で安心して通行できる道路環境整備を図ります。
<p>公共交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜駅周辺は、本市における公共交通の拠点として、交通結節機能の維持・強化に努めます。 ○名鉄名古屋本線鉄道高架化事業の促進を図ります。 ○日常生活の移動の確保のため、地域住民が主体となり交通事業者と連携してコミュニティバスを運行しており、さらなる利便性向上を図るとともに、効率化に向けた新たな制度、最新技術などの導入を含めた検討を進めます。 <p><主要な交通結節点></p> <p>トランジットセンター：JR 岐阜駅</p> <p>拠点バス停：市庁舎、茜部小学校前</p>

<p>駐車場 駐輪場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜駅周辺から柳ヶ瀬周辺の地区において、駐車場や駐輪場の戦略的な確保に努めます。 ○求められる機能が不足していることに加え、建築物やインフラの老朽化による劣化が激しく、施設の再整備が課題となっている岐阜市中央卸売市場については、民間の資金・ノウハウなどの活用を検討しながら、再整備に係る事業費が過大にならないよう、施設の規模や整備内容について検討します。
<p>公園・緑地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○センターゾーンにおいて、公共空間のほか、民間敷地などにおける緑化などを促進し、魅力ある都市空間の形成を図ります。 ○本市のセントラルパークである金公園の再整備を推進します。 ○柳ヶ瀬の空間の質向上に資する広場の整備を推進します。 ○アクアージュ柳ヶ瀬をはじめとしたコミュニティ水路などの水に関する地域資源の適切な維持・保全を図るとともに、それらと都市公園などの緑地空間との調和を図ります。 ○都市公園などの緑地空間は、貴重なグリーンインフラであるとともに、災害時の避難場所としての防災機能を有しており、引き続き、保全及び整備を推進します。 ○レクリエーションの場として清水緑地の活用を図ります。 ○長良川や金華山について、風致地区の指定の維持などにより、良好な河川・緑地環境の保全を図ります。
<p>自然環境 都市環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川におけるかわまちづくりなど、長良川や金華山などの資源を活かした地域の取組と連携したまちづくりに努めます。 ○ヒメコウホネなどの自然資源に恵まれた達目洞地区などの生物多様性の豊かな地区について、計画的に保全します。
<p>景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や金華山などの自然豊かな美しい景観と眺望景観の保全・創出に努めます。 ○岐阜駅周辺や柳ヶ瀬において、地区のまちづくりと併せた都市景観の創出に努めます。 ○岐阜城跡周辺や加納城跡周辺における城下町の歴史的たたずまいや雰囲気のある景観の保全・創出に努めます。 ○御鯨街道、中山道などの歴史を感じさせる道路や、(都)一般国道21号線などの主要な道路の道路景観など、地域の特性に応じた景観形成に努めます。 ○粕森公園について、風致の優れた緑地の整備を図ります。

中央部の都市づくりの方針図



<p>■ 拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都心拠点 ○岐阜駅周辺～柳ヶ瀬～つかさのまち ○ 観光・コンベンション拠点 ○岐阜公園周辺 ○ 複合業務拠点 ○岐阜市中央卸売市場周辺 ○ 自然・歴史・景観拠点 ○岐阜公園周辺 ○加納公園周辺 ○ 地域生活拠点 ○JR 岐阜駅南口から(都)城南岐大線・(都)城南芋島線にかけての地域 	<p>■ 軸</p> <ul style="list-style-type: none"> — 都市計画道路 ◁▷▷▷ 幹線・環状バス ◁▷▷▷ コミュニティ交通 												
<p>■ 土地利用</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">■ 都心住宅地区</td> <td style="width: 33%;">■ 地域商業地区</td> <td style="width: 33%;">■ 森林地区</td> </tr> <tr> <td>■ 周辺住宅地区</td> <td>■ 沿道地区</td> <td>■ 観光・コンベンション地区</td> </tr> <tr> <td>■ 郊外住宅地区</td> <td>■ 工業地区</td> <td>■ 自然・歴史・景観地区</td> </tr> <tr> <td>■ 都心商業地区</td> <td>■ 農業地区</td> <td></td> </tr> </table>		■ 都心住宅地区	■ 地域商業地区	■ 森林地区	■ 周辺住宅地区	■ 沿道地区	■ 観光・コンベンション地区	■ 郊外住宅地区	■ 工業地区	■ 自然・歴史・景観地区	■ 都心商業地区	■ 農業地区	
■ 都心住宅地区	■ 地域商業地区	■ 森林地区											
■ 周辺住宅地区	■ 沿道地区	■ 観光・コンベンション地区											
■ 郊外住宅地区	■ 工業地区	■ 自然・歴史・景観地区											
■ 都心商業地区	■ 農業地区												
<p>■ 都市施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主要な公園・緑地 ■ 河川 													

4-2 南西部

1) 地域の概況

本地域の北と西は長良川に面し、南部には境川などが流れ、南西部には農地が広がっています。地域の北部には県庁をはじめとする行政機関などのほか、図書館や美術館などの文化・芸術施設がそれぞれまとまって立地しています。

また、鉄道や幹線道路による交通条件に恵まれており、これを背景として岐阜流通業務団地を中心に産業・流通の拠点が形成され、国道21号沿道には商業・業務施設が集積しています。



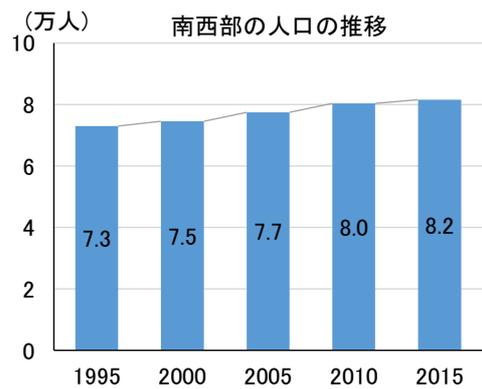
2) 地域の状況

① 人口の動向

2015年（平成27年）の人口は約8.2万人です。2010～2015年の増減率は+2.5%で、地域としては5地域のなかで唯一増加しています。（市平均-1.5%）。

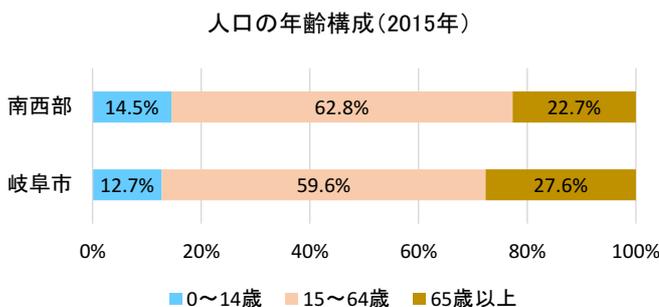
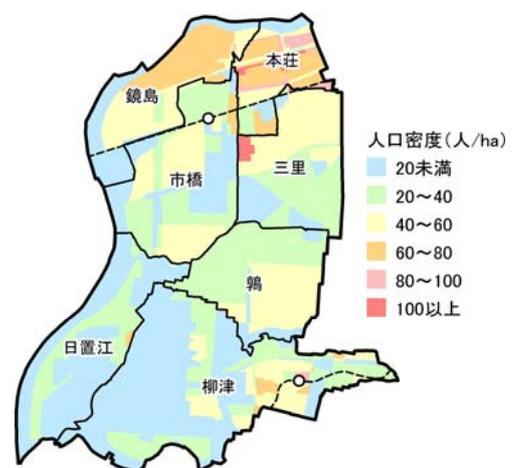
地域の平均の人口密度は28.6人/haで、市平均（20.0人/ha）を上回っています。本荘地区や鏡島地区には60人/ha以上の比較的高い地域がありますが、それ以外は、三里地区の一部や柳津地区の駅周辺などを除き、概ね20～60人/haの地域が広がっています。

2015年（平成27年）における0～14歳人口の割合は14.5%、65歳以上人口の割合は22.7%であり、5地域のなかでは若い年代が最も多い地域です。



資料：国勢調査

調査区別の人口密度



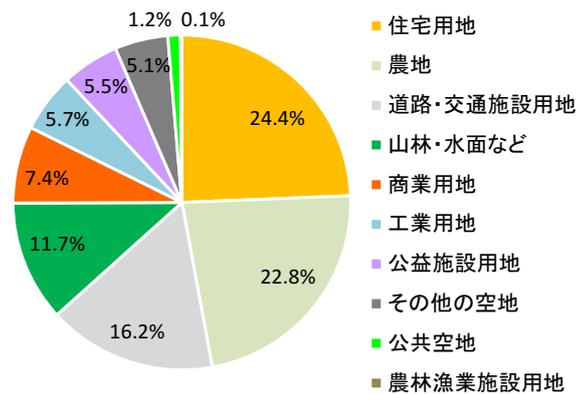
資料：2015年（平成27年）国勢調査

資料：2017年度（平成29年度）都市計画基礎調査

② 土地利用の状況

住宅用地が地域の約 24%を占めている一方、農地も約 23%を占めています。これらの農地は、地域の南西部を中心に分布しています。

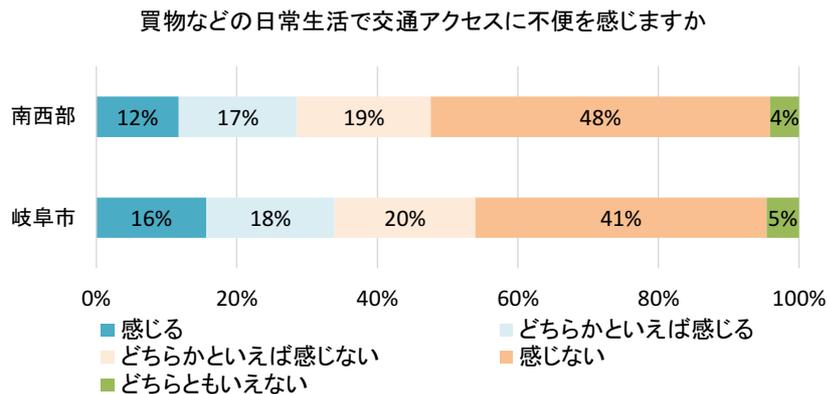
長良川や境川などの河川空間を有していますが、まとまった山林などはなく、山林・水面などが占める割合は5地域のなかで最も小さくなっています。



資料：2017年度（平成29年度）都市計画基礎調査

③ 市民意識

買い物などの日常生活での交通アクセスについて、不便を感じている人及びどちらかといえば感じている人は合わせて 29%で、5地域のなかでは中央部（26%）に次いで少なくなっています。



資料：2020年度（令和2年度）市民意識調査

④ 地域資源

	資源
自然	長良川、境川、次木のツバキ・藤九郎ギンナン、日置江のモミジ、高桑のムクノキ
史跡など	智通光居墓、畑繫堤跡
寺社	鏡島弘法、本荘神社、鶉田神社
公園・緑地	境川緑道公園、本荘公園、八ツ草公園
祭・イベント	やないづ境川ふれあい夏祭り



鏡島弘法



境川緑道公園



小紅の渡し

3) 地域の都市づくりの方向性

多様な交通インフラと高次都市機能とを兼ね備え、
産業創出の流通・産業機能も充実した、利便性が高く住み心地のよいまち

- 地域生活拠点に都市機能の集積を誘導して生活利便性を確保するほか、交通インフラを活用した産業拠点などの強化を図ります。
- 西岐阜駅や柳津駅、県庁周辺の交通結節機能を強化し、利便性の高い公共交通ネットワークを維持・形成します。
- 境川緑道公園などの自然環境や、文化・芸術施設の集積を活かした良好な環境や景観の形成を進めます。
- 洪水などに対する防災・減災対策を官民の連携により推進し、災害に強いまちにします。

4) 地域の主要な都市づくりの方針

『拠点』の形成

複合業務拠点	商業業務の拠点 ○岐阜市中央卸売市場周辺
産業・流通拠点	流通業務団地及び名神高速道路へのアクセスを生かし、産業の集積を図る拠点 ○岐阜流通業務団地周辺の柳津地域
交通結節点促進拠点	トランジットセンター及びその周辺において、交通利便性の向上・充実や利便施設などの維持・誘導を図る拠点 ○西岐阜駅 ○柳津駅 ○県庁周辺
地域生活拠点	生活を支える機能の集積を目指す拠点 ○西岐阜駅から県庁周辺にかけての地域 ○柳津駅周辺

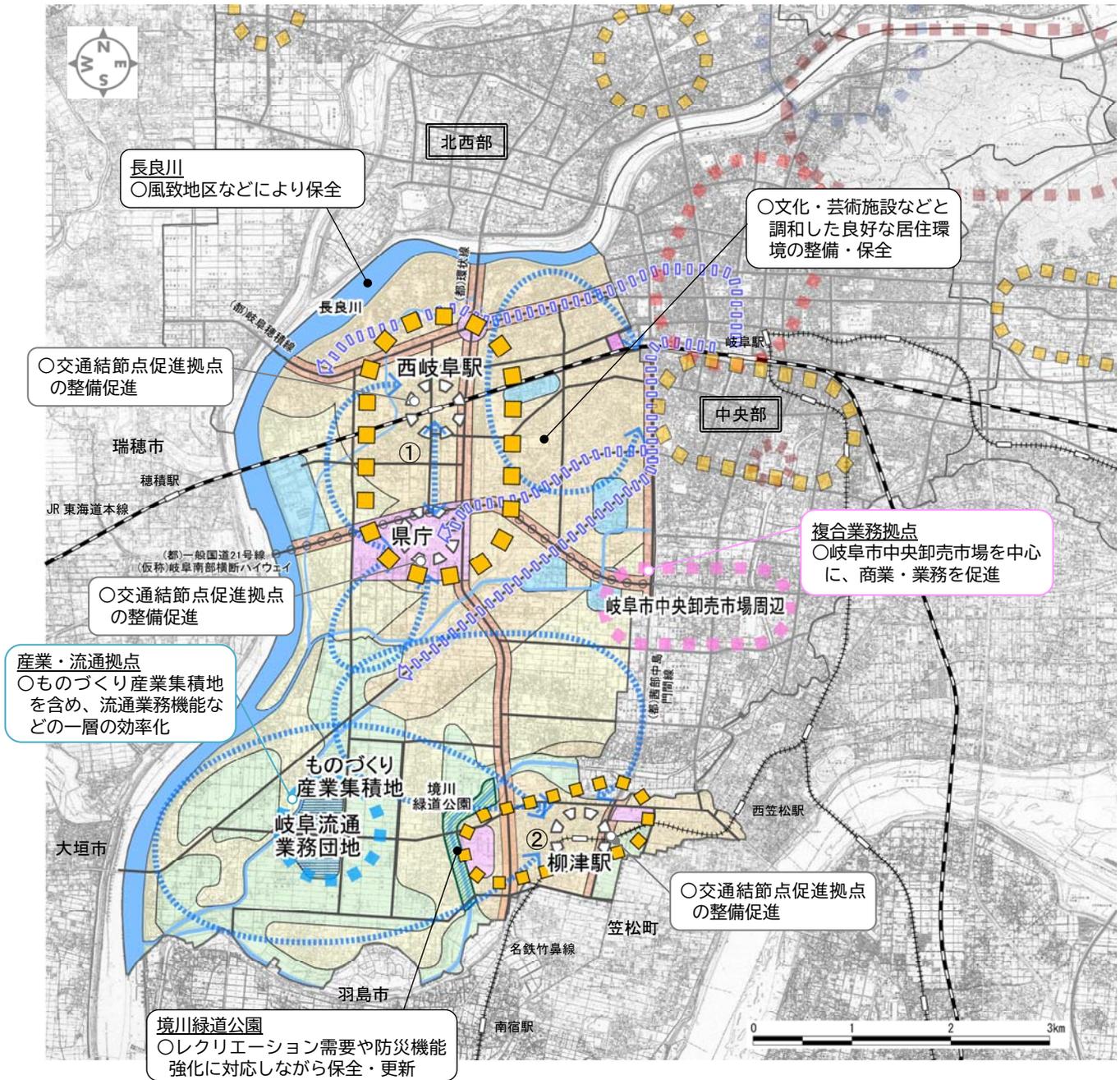
『軸』の形成

広域連携軸	○岐阜南部横断ハイウェイ、(仮称)岐阜羽島道路、 (仮称)岐阜環状道路
市街地・地域間連携軸	○(都)環状線、(都)一般国道21号線、(都)岐阜穂積線、 (都)西部中島門間線
公共交通軸	○JR東海道本線(西岐阜駅) ○名鉄竹鼻線(柳津駅) ○JR岐阜駅を起点とした幹線バス路線
自然環境軸	○長良川

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域生活拠点において生活利便施設などの機能集積を誘導し、生活利便性の確保を図ります。 ○西岐阜駅、柳津駅及び県庁の各周辺では、交通結節点促進拠点として交通機能の向上・充実に合わせた市街地環境の整備などに取り組みます。 ○岐阜県美術館・岐阜県図書館・岐阜市科学館などの文化・芸術施設が集積している地区の周辺においては、文化・芸術施設などと調和した良好な居住環境の保全・形成を図ります。 ○日置江地区や大脇地区などの既成市街地については、地区計画などを活用し、良好な居住環境の整備・保全を図ります。 ○繊維、燃糸関係の工場の立地がみられる地区については、居住環境を保全しつつ地場産業の保護を図ります。 ○岐阜流通業務団地周辺及びものづくり産業集積地周辺では、産業・流通拠点として、流通業務機能などの効率化及び新たなものづくり産業などの集積に努めます。 ○集落地区周辺においては、優良な農地への蚕食的な開発の進展を抑制し、自然環境や営農環境との調和を図りながら、居住環境の維持・改善に努めます。
<p>道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広域連携軸である岐阜南部横断ハイウェイの整備の実現を推進するほか、(都)羽島署高桑線及び(都)柳津日置江線などの整備について検討します。 ○西岐阜駅周辺や柳津駅周辺などの生活道路について、「車」優先ではなく「ひと」優先の道として、歩行者・自転車利用者が安全で安心して通行できる道路環境整備を図ります。 ○(都)岐阜南濃線沿道の岐阜市道の駅柳津交流センターを活用し、地域住民や道路利用者などへの憩いと安らぎの空間の提供、地域の魅力の発信、人・物・情報の交流の促進に努め、地域の活性化を図ります。
<p>公共交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○西岐阜駅、柳津駅、県庁周辺において、交通結節機能の維持・強化に努めます。 ○日常生活の移動の確保のため、地域住民が主体となり交通事業者と連携してコミュニティバスを運行しており、さらなる利便性向上を図るとともに、効率化に向けた新たな制度、最新技術などの導入を含めた検討を進めます。 <p><主要な交通結節点></p> <p>トランジットセンター：西岐阜駅、柳津駅、県庁</p> <p>拠点バス停：鶉ターミナル</p>

公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川について、風致地区の指定の維持などにより、良好な河川環境の保全を図ります。 ○境川緑道公園は、レクリエーション需要や防災機能の強化など多様なニーズに対応しながら、他の都市公園とともに老朽化施設の改修を図るなど機能更新を進め、魅力増進を図ります。 ○都市公園などの緑地空間は、貴重なグリーンインフラであるとともに、災害時の避難場所としての防災機能を有しており、引き続き、保全及び整備を推進します。
河川	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境、景観などの観点を踏まえながら河川改修を進めるとともに、流域の持つ保水・浸透機能を適切に維持・確保するなど流域治水対策を推進します。
自然環境 都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や境川などの自然環境や、虻だこ、中山道、鏡島弘法（乙津寺）などの歴史的資産を活かした地域の取組と連携したまちづくりに努めます。
景観	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川などの自然豊かな美しい景観と眺望景観の保全・創出に努めます。 ○岐阜県庁及び岐阜県美術館周辺地区などでは、風格ある景観の保全・創出に努めます。 ○岐阜流通業務団地や下奈良工業団地では、田園や住宅などの周辺環境と調和した景観形成に努めます。

南西部の都市づくりの方針図



■ 拠点

-  **複合業務拠点**
○岐阜市中央卸売市場周辺
-  **産業・流通拠点**
○岐阜流通業務団地周辺及びものづくり産業集積地周辺
-  **交通結節点促進拠点**
○西岐阜駅
○柳津駅
○県庁周辺
-  **地域生活拠点**
①西岐阜駅から県庁周辺にかけての地域
②柳津駅周辺

■ 軸

-  都市計画道路
-  幹線・環状バス
-  コミュニティ交通

■ 土地利用

-  周辺住宅地区
-  郊外住宅地区
-  都心商業地区
-  地域商業地区
-  沿道地区
-  工業地区
-  農業地区
-  産業・流通地区

■ 都市施設など

-  主要な公園・緑地
-  河川

4-3 北西部

1) 地域の概況

本地域の北部には城ヶ峰や御望山などの森林や農地などが広がり、豊かな自然環境に恵まれています。中央部には東海環状自動車道が横断し、(仮称)岐阜インターチェンジの付近には岐阜大学や岐阜薬科大学が立地しています。本地域の南部は平坦地となっており、北東から南に伊自良川が流れ、南側は長良川に面しています。長良川沿いの地域東端部は観光・コンベンション地区の一角であり、長良川球場などが立地しています。



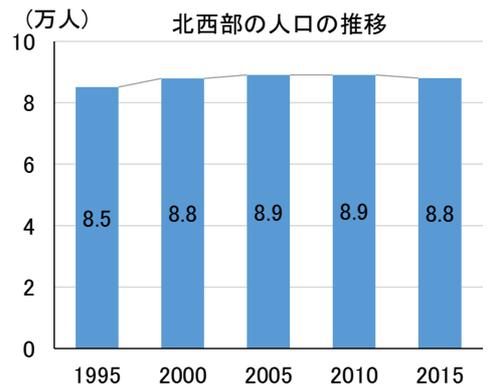
2) 地域の状況

① 人口の動向

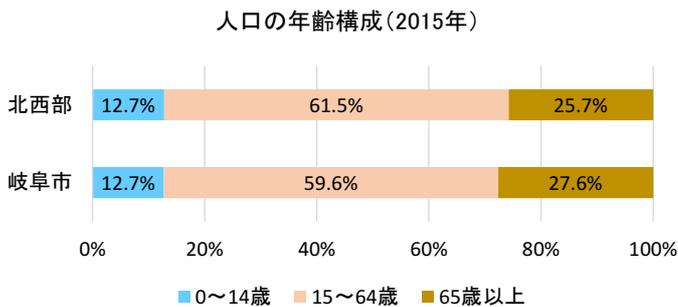
2015年(平成27年)の人口は約8.8万人です。2010年までは増加していましたが、2010～2015年には減少し、増減率-1.1%となっています(市平均-1.5%)。

地域の平均の人口密度は14.5人/ha(市平均20.0人/ha)です。長良川と伊自良川に挟まれた地域に人口密度が60人/ha以上の地区がまとまって分布しているほか、黒野地区及び七郷地区の幹線道路沿道などに人口密度が比較的高い地区が分布しています。

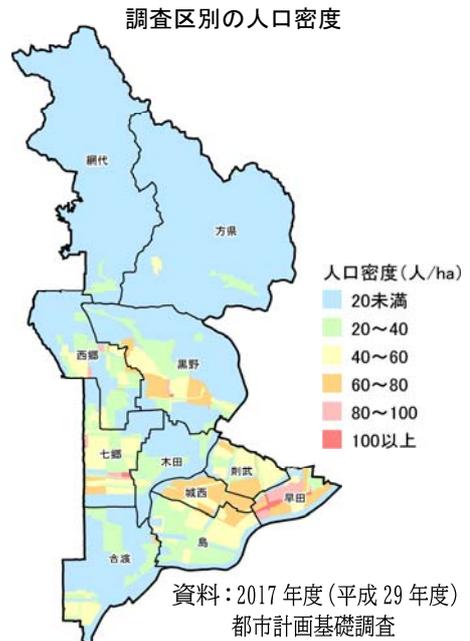
2015年(平成27年)における65歳以上人口の割合は25.7%で市平均よりやや低く、15～64歳人口の割合は61.5%で市平均よりやや高くなっています。



資料：国勢調査



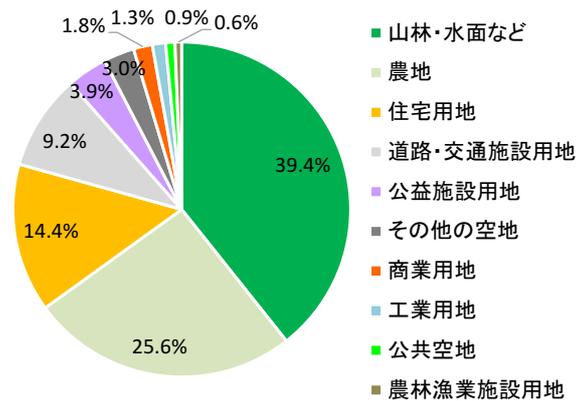
資料：2015年(平成27年)国勢調査



資料：2017年度(平成29年度)都市計画基礎調査

② 土地利用の状況

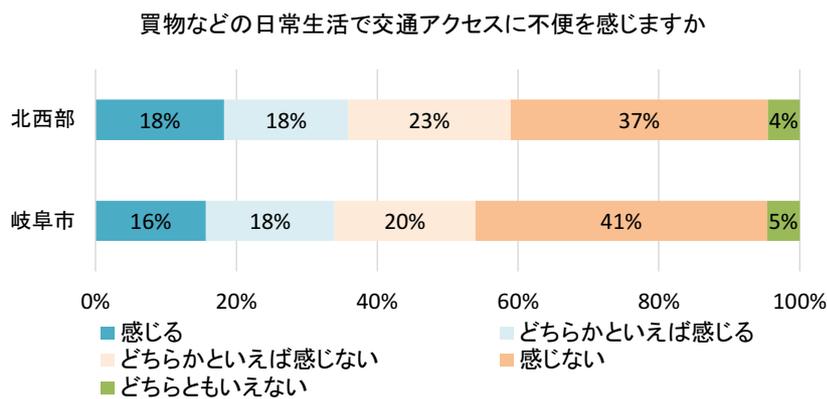
地域面積のうち、地域北部の森林をはじめとする山林・水面などが約 39%、地域南部を中心に広がる農地が約 26%を占め、自然環境が豊かな地域となっています。なお、地域面積に占める農地の割合は、5 地域のなかで最も大きくなっています。



資料：2017 年度（平成 29 年度）都市計画基礎調査

③ 市民意識

買い物などの日常生活での交通アクセスについて、不便を感じている人及びどちらかといえば感じている人は合わせて 36%で、市平均とほぼ同じとなっています。



資料：2020 年度（令和 2 年度）市民意識調査

④ 地域資源

	資源
自然	長良川、伊自良川、板屋川
史跡など	黒野城跡、則武輪中跡・尉殿堤跡
寺社	葛懸神社
公園・緑地	島南公園、島中央公園
祭・イベント	池ノ上みそぎ祭



黒野城跡



則武輪中跡・尉殿堤跡



池ノ上みそぎ祭

3) 地域の都市づくりの方向性

インターチェンジ開通による新たな玄関口としての立地を活かし
産官学の連携による新たな産業創出拠点や
コンベンション拠点を活かした本市の活力を高めるまち

- 地域生活拠点に都市機能の集積を誘導して生活利便性を確保するほか、交通インフラや大学などの立地を活かした産業、学術・研究の拠点形成を図ります。
- 岐阜大学の交通結節機能を維持・強化し、利便性の高い公共交通ネットワークを維持・形成します。
- 地域北部の森林や、伊自良川・長良川などの河川を保全・活用するとともに、観光・コンベンションの施設立地を活かし、良好な環境や景観の形成を進めます。
- 洪水や土砂災害などに対する防災・減災対策を官民の連携により推進し、災害に強いまちにします。

4) 地域の主要な都市づくりの方針

『拠点』の形成

観光・コンベンション拠点	観光資源を有効に活用した、スポーツ・観光・コンベンションの拠点 ○世界イベント村周辺
学術・研究拠点	東海地方の学術研究機関と連携する学術・研究の拠点 ○岐阜大学及び岐阜薬科大学周辺
産業・流通拠点	東海環状自動車道及びインターチェンジによる交通利便性を活かし、当該地域の特性を有効活用した産業の集積を図る拠点 ○（仮称）岐阜インターチェンジ周辺の黒野地域
交通結節点促進拠点	トランジットセンター及びその周辺において、交通利便性の向上・充実や利便施設などの維持・誘導を図る拠点 ○岐阜大学周辺
地域生活拠点	生活を支える機能の集積を目指す拠点 ○（都）折立大学北線と（都）城田寺中線との交差部周辺及び（主）岐阜美山線の沿道 ○（都）西部縦貫道線の沿道 ○（都）東島高富線と（都）岐阜駅城田寺線との交差部及びその沿道

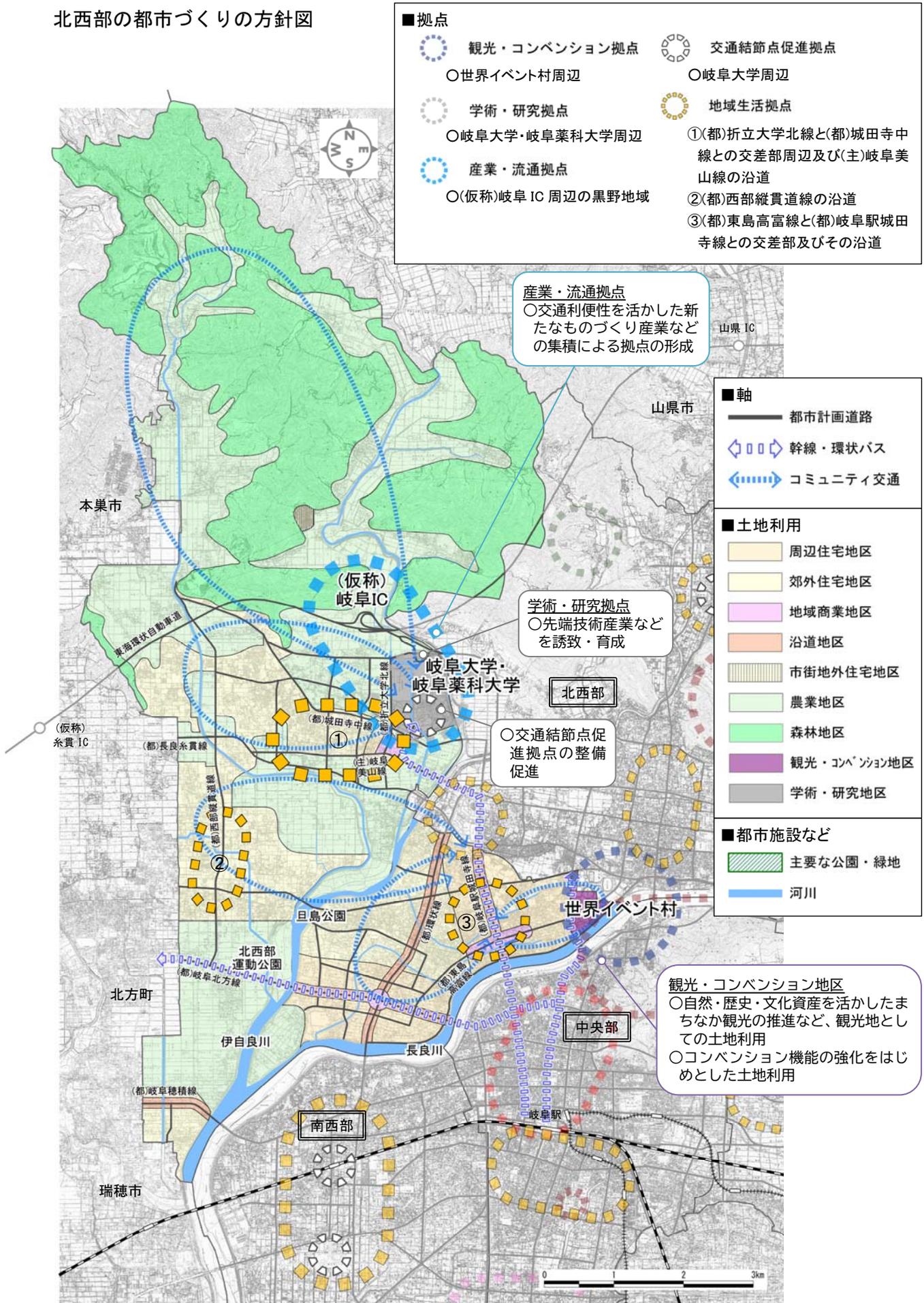
『軸』の形成

広域連携軸	○東海環状自動車道、（仮称）岐阜環状道路
市街地・地域間連携軸	○（都）環状線、（都）岐阜穂積線、（都）岐阜北方線、（都）長良糸貫線
公共交通軸	○JR 岐阜駅を起点とした幹線バス路線・環状バス路線
自然環境軸	○長良川・伊自良川

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域生活拠点において生活利便施設などの機能集積を誘導し、生活利便性の確保を図ります。 ○岐阜大学周辺では、交通結節点促進拠点として、交通機能の向上に向けた整備などを検討します。 ○西郷地区や七郷地区、木田地区などにおいては、地区計画などによる基盤強化を行い、良好な居住環境の整備を図ります。 ○土地区画整事業による整備が完了した地区については、地区計画などによる計画的な土地利用を促進し、中低層住宅などが立ち並ぶ、中心市街地からのアクセス性を活かした良好な居住環境を形成します。 ○岐阜大学及び岐阜薬科大学周辺においては、学術・研究拠点として、先端技術産業などを誘致・育成し、計画的な土地利用を図ります。 ○（仮称）岐阜インターチェンジ周辺の黒野地域は、産業・流通拠点として、東海環状自動車道及びインターチェンジの整備に合わせて、交通利便性を活かした新たなものづくり産業などの集積を目指します。 ○自然・歴史・文化資産を有する地区においては、今後ともその環境に配慮しつつ、資産を活かしたまちなか観光の推進など、観光地としての土地利用を図ります。観光・コンベンション拠点である世界イベント村周辺地区については、コンベンション機能の強化をはじめとした土地利用を図ります。
<p>道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広域連携軸として、東海環状自動車道の整備を図ります。 ○東海環状自動車道の整備にあわせ、中心市街地などからのインターチェンジへのアクセス性向上のため、（都）長良糸貫線及び（都）折立大学北線の整備を図ります。 ○地域の骨格となる道路として（都）西部縦貫道線や（都）運動場加茂線の整備を図ります。また、（都）岐阜駅城田寺線などについて、公共交通の支援のほか、東海環状自動車道などの広域道路網や中心市街地へのアクセス性向上のため整備を図ります。
<p>公共交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜大学周辺において、交通結節機能の維持・強化に努めます。 ○日常生活の移動の確保のため、地域住民が主体となり交通事業者と連携してコミュニティバスを運行しており、さらなる利便性向上を図るとともに、効率化に向けた新たな制度、最新技術などの導入を含めた検討を進めます。 <p><主要な交通結節点></p> <p>トランジットセンター：岐阜大学・岐阜大学病院</p> <p>拠点バス停：忠節</p>

<p>その他の 都市施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○掛洞ごみ焼却場、岐阜市リサイクルセンターについては、適切な維持管理に努めます。なお、掛洞ごみ焼却場は、施設が老朽化しており、新たな施設整備に向けた検討を進めます。 ○岐阜市寺田プラントについては、適切な維持管理に努め、類似施設とともに、施設の整備・更新・集約などを検討します。
<p>公園・緑地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○城ヶ峰などの市街地周辺の山並みの保全を図ります。 ○良好な河川環境の保全を図ります。長良川については、風致地区の指定の維持などにより、保全を図ります。 ○且島公園や北西部運動公園は、レクリエーションや運動の場などとして活用を図ります。 ○都市公園などの緑地空間は、貴重なグリーンインフラであるとともに、災害時の避難場所としての防災機能を有しており、引き続き、保全及び整備を推進します。
<p>自然環境 都市環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や伊自良川、中山道などの資源を活かした地域の取組と連携したまちづくりに努めます。
<p>景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川などの自然豊かな美しい景観と眺望景観の保全・創出に努めます。 ○田園景観・里山集落景観の保全・活用に努めます。 ○黒野城跡周辺の歴史的な景観、岐阜大学などの拠点施設を生かした景観、(都)環状線などの主要な道路の景観、土地区画整理事業によって整備された住宅地景観など、地域の特性に応じた景観形成に努めます。

北西部の都市づくりの方針図



4-4 北東部

1) 地域の概況

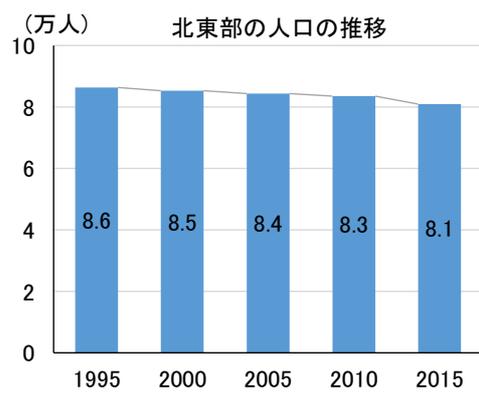
本地域の中央部の百ヶヶ峰一帯から北部にかけて森林や丘陵地が広がり、岐阜ファミリーパークや岐阜市畜産センター公園のほか、ながら川ふれあいセンターなどが立地しています。また、北部を東海環状自動車道が横断し、岐阜三輪スマートインターチェンジが設置されています。(都)環状線の沿道・内側、及び国道256号沿道などの地域に比較的高密度な市街地が形成され、長良川に面する地域は観光・コンベンション地区となっています。



2) 地域の状況

① 人口の動向

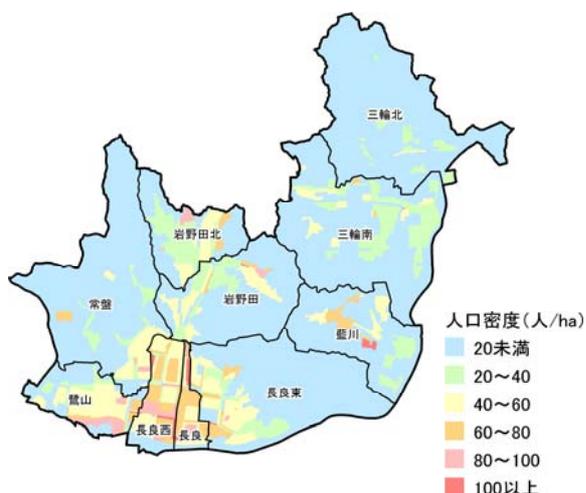
2015年(平成27年)の人口は約8.1万人です。地域全体として減少傾向が続いており、2010~2015年の増減率は-2.4%で、中央部に次いで減少が大きくなっています(市平均-1.5%)。



資料：国勢調査

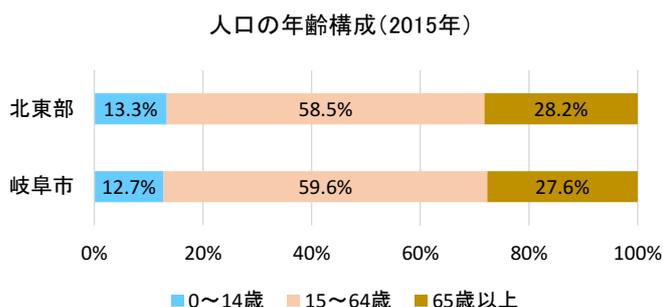
地域の平均の人口密度は13.5人/ha(市平均20.0人/ha)です。人口密度が比較的高い地域は、地域南西部の(都)環状線の沿道・内側の地域や、中心市街地から山県市へ向かう国道256号の軸線上にある岩野田北地区などにまとまっているほかは、点在している状況です。

調査区別の人口密度



資料：2017年度(平成29年度)都市計画基礎調査

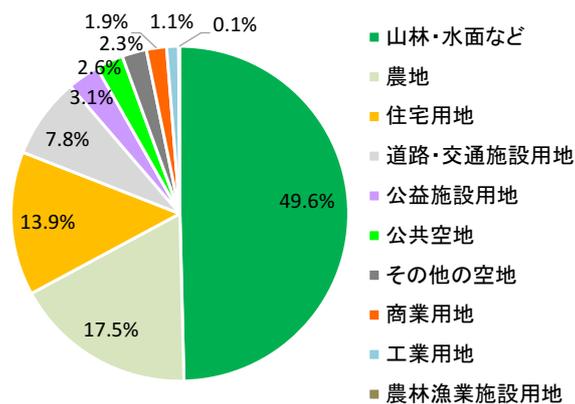
2015年(平成27年)における65歳以上人口の割合及び0~14歳人口の割合は、いずれも市平均よりやや高くなっています。



資料：2015年(平成27年)国勢調査

② 土地利用の状況

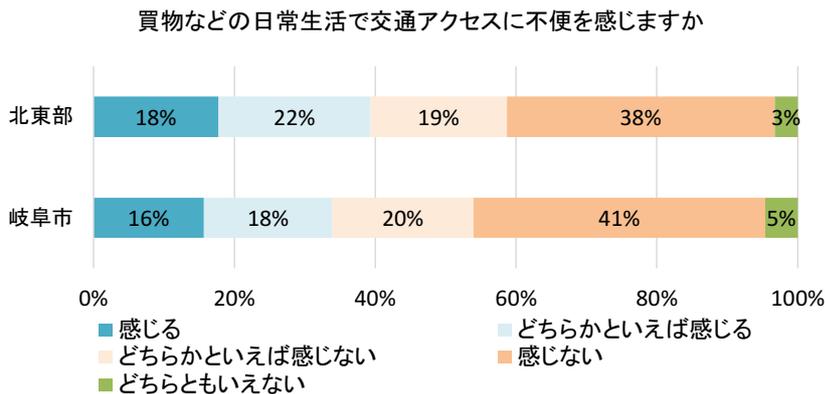
本地域の約50%は山林・水面などに占められ、この割合は5地域のなかで最も大きくなっています。次いで農地が多く約18%を占めており、自然環境が豊かな地域となっています。住宅用地の割合は約14%であり、5地域のなかで最も小さくなっています。



資料：2017年度（平成29年度）都市計画基礎調査

③ 市民意識

買い物などの日常生活での交通アクセスについて、不便を感じている人及びどちらかといえば感じている人は合わせて約40%で、南東部（同約40%）とともに5地域のなかで最も多くなっています。



資料：2020年度（令和2年度）市民意識調査

④ 地域資源

	資源
自然	長良川、鳥羽川、百々ヶ峰、鷺山、白山神社のスギ、大智寺のヒノキ、鏡岩
史跡など	宝暦治水工事義没者墓、獅子庵
寺社	三田洞弘法、延算寺、大智寺
公園・緑地	長良公園、岐阜ファミリーパーク、岐阜市畜産センター公園、ながら川ふれあいの森、鷺山公園
祭・イベント	長良川まつり・鮎供養



三田洞弘法



ながら川ふれあいの森



長良川まつり

3) 地域の都市づくりの方向性

広域アクセスによる利便性を活かした新たな交流と
本物の自然・歴史・文化資源を活かした本市の魅力を発信するまち

- 地域生活拠点に都市機能の集積を誘導して生活利便性を確保するほか、交通インフラや地域資源を活かした産業拠点の形成、交流の促進を図ります。
- 三田洞の交通結節機能を強化し、利便性の高い公共交通ネットワークを維持・形成するとともに、市民との協働により地域の移動手段を確保します。
- 地域の中部から北部の森林や長良川などの河川を保全・活用するとともに、観光・コンベンションの施設立地を活かし、良好な環境や景観の形成を進めます。
- 洪水や土砂災害などに対する防災・減災対策を官民の連携により推進し、災害に強いまちにします。

4) 地域の主要な都市づくりの方針

『拠点』の形成

レクリエーション・ 野外学習拠点	レクリエーションや野外学習の拠点 ○岐阜ファミリーパーク ○岐阜市畜産センター公園
観光・ コンベンション拠点	観光資源を有効に活用した、スポーツ・観光・コンベンションの拠点 ○世界イベント村周辺
自然・歴史・ 景観拠点	本物の自然・歴史・文化遺産や緑・川が堪能できる拠点 ○長良川、百ヶヶ峰など
産業・流通 拠点	高規格道路へのアクセスを活かし、産業の集積を図る拠点 ○東海環状自動車道の岐阜三輪スマートインターチェンジ周辺の三輪地域
交通結節点 促進拠点	トランジットセンター及びその周辺において、交通利便性の向上・充実や利便施設などの維持・誘導を図る拠点 ○三田洞
地域生活拠点	生活を支える機能の集積を目指す拠点 ○(都)芥見太郎丸線と(都)太郎丸春近線の交差部周辺 ○(都)東島高富線と(都)栗野福富線の交差部周辺から(都)岐阜駅高富線の沿道 ○(都)長良糸貫線と(都)環状線及び(都)岐阜駅城田寺線との交差部周辺 ○(都)岐阜駅高富線と(都)環状線との交差部周辺

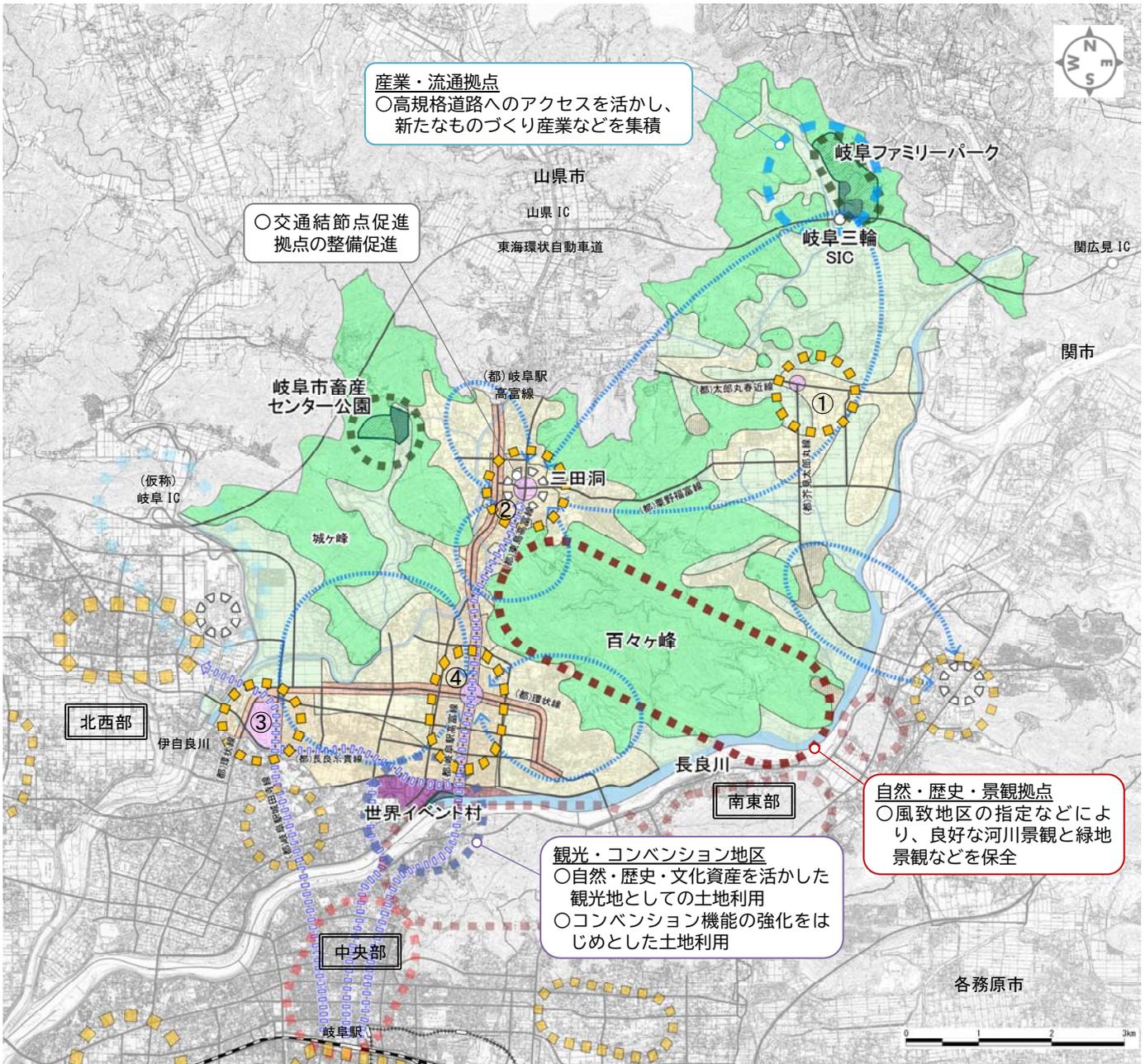
『軸』の形成

広域連携軸	○東海環状自動車道、(仮称)岐阜環状道路
市街地・地域間連携軸	○(都)環状線、(都)岐阜駅高富線
公共交通軸	○JR 岐阜駅を起点とした幹線バス路線・環状バス路線
自然環境軸	○長良川・伊自良川

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域生活拠点において生活利便施設などの機能集積を誘導し、生活利便性の確保を図ります。 ○三田洞では、交通結節点促進拠点として、交通機能の向上に向けた整備などを検討します。 ○都市基盤が不十分な地区については、必要に応じて基盤整備を進め、良好な居住環境の整備を図ります。このうち鷺山中洙地区では、土地区画整理事業による整備を図ります。 ○太郎丸地区や春近地区などの既成市街地については、地区計画などによる基盤強化を行い、良好な居住環境の整備を図ります。 ○レクリエーション・野外学習拠点においては、岐阜ファミリーパーク内のスポーツ施設、少年自然の家、岐阜市畜産センター公園内の芝生広場、ハイキングコースなどの各施設を活用し、スポーツ・レクリエーションや野外学習が体験でき、自然とふれあえる市民の憩いの場としての土地利用を図ります。 ○東海環状自動車道の岐阜三輪スマートインターチェンジ周辺の三輪地域は、高規格道路へのアクセスを活かし、産業・流通拠点として、新たなものづくり産業などの集積を図ります。 ○自然・歴史・文化資源を有する地区においては、今後ともその環境に配慮しつつ、資源を活かした観光地としての土地利用を図ります。観光・コンベンション拠点である世界イベント村周辺地区については、コンベンション機能の強化をはじめとした土地利用を図ります。 ○百ヶヶ峰一帯や眉山周辺などにおいては、森林の保全を図るとともに、ながら川ふれあいの森などの自然と親しむ場として活用を図ります。
<p>道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○東海環状自動車道へのアクセス向上のため、(都)芥見太郎丸線や(都)岐阜インター線などの整備を図ります。 ○広域道路網や中心市街地へのアクセス向上のため、(都)環状線、(都)岐阜駅高富線、(都)岐阜駅城田寺線、(都)長良糸貫線などの整備を図ります。 ○長良西地区などの身近な生活道路などについて「車」優先から「ひと」優先の道へ転換し、歩行者・自転車利用者が安全で安心して通行できる道路環境整備を図ります。 ○長良川右岸地区などにおいて、歴史や文化などに触れ、ゆったりとした時間を楽しむことができる魅力あるまちづくり・道づくりを進めます。
<p>公共交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○三田洞において、交通結節機能の維持・強化に努めます。 ○日常生活の移動の確保のため、地域住民が主体となり交通事業者と連携してコミュニティバスを運行しており、さらなる利便性向上を図るとともに、効率化に向けた新たな制度、最新技術などの導入を含めた検討を進めます。

	<p><主要な交通結節点></p> <p>トランジットセンター：三田洞</p> <p>拠点バス停：鶺鴒屋、長良北町、岐阜メモリアルセンター、正木マーサ前</p>
<p>公園・緑地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や百ヶ峰について、風致地区の指定の維持などにより、良好な河川・緑地環境の保全を図ります。 ○岐阜メモリアルセンターの機能活用に努めます。 ○岐阜ファミリーパークや岐阜市畜産センター公園は、スポーツ・レクリエーション需要の変化や防災機能の強化など、多様なニーズに対応しながら保全・更新を行い、魅力増進を図ります。 ○ながら川ふれあいの森は、森林浴や自然散策などを楽しみ、潤いと安らぎを与えてくれる施設として、魅力増進を図ります。 ○鷺山公園及びその周辺は、地域と連携したまちづくり活動の場などとして活用を図ります。 ○都市公園などの緑地空間は、貴重なグリーンインフラであるとともに、災害時の避難場所としての防災機能を有しており、引き続き、保全及び整備を進めます。
<p>自然環境 都市環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や百ヶ峰などの自然環境や、歴史・文化資源を活かした地域の取組と連携したまちづくりに努めます。
<p>景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や百ヶ峰などの自然豊かな美しい景観と眺望景観の保全・創出に努めます。 ○長良川周辺は、千三百年の歴史を誇る鶺鴒の舞台であり、鶺鴒と流域住民が育んできた歴史・文化資源やこれらと一体となった歴史的・文化的景観の継承や創出に努めます。 ○長良川プロムナードや堤防道路、(都)環状線の道路景観など地域の特性に応じた景観形成に努めます。

北東部の都市づくりの方針図



産業・流通拠点
 ○高規格道路へのアクセスを活かし、
 新たなものづくり産業などを集積

○交通結節点促進
 拠点の整備促進

自然・歴史・景観拠点
 ○風致地区の指定などにより、
 良好な河川景観と緑地
 景観などを保全

観光・コンベンション地区
 ○自然・歴史・文化資産を活かした
 観光地としての土地利用
 ○コンベンション機能の強化をは
 じめとした土地利用

<p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> レクリエーション・野外学習拠点 <ul style="list-style-type: none"> ○岐阜ファミリーパーク ○岐阜市畜産センター公園 観光・コンベンション拠点 <ul style="list-style-type: none"> ○世界イベント村周辺 自然・歴史・景観拠点 <ul style="list-style-type: none"> ○長良川、百々ヶ峰など 産業・流通拠点 <ul style="list-style-type: none"> ○岐阜三輪スマート IC 周辺の三輪地域 		<p>交通結節点促進拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三田洞 <p>地域生活拠点</p> <p>生活利便施設などの集積を誘導</p> <ol style="list-style-type: none"> (都)芥見太郎丸線と(都)太郎丸春近線の交差点周辺 (都)東島高富線と(都)栗野福富線の交差点周辺から(都)岐阜駅高富線の沿道 (都)長良糸貫線と(都)環状線及び(都)岐阜駅城田寺線との交差点周辺 (都)岐阜駅高富線と(都)環状線との交差点周辺 	
<p>■軸</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路 幹線・環状バス コミュニティ交通 		<p>■土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺住宅地区 郊外住宅地区 地域商業地区 沿道地区 市街地外住宅地区 農業地区 森林地区 レクリエーション・野外学習地区 観光・コンベンション地区 	
<p>■都市施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な公園・緑地 河川 			

4-5 南東部

1) 地域の概況

本地域の北は長良川に面し、金華山をはじめとする森林・丘陵地が広がっています。地域南部の平坦地には JR 高山本線や名鉄各務原線が通り、幹線道路などによって本市中心部と結ばれているほか、本市と愛知県・関市とを結ぶ国道 156 号が南から北東方向に地域を横断しています。市街地はこれら南部の平坦地と、国道 156 号沿道の地域、及び北部の丘陵地に開発された住宅団地などに形成されています。



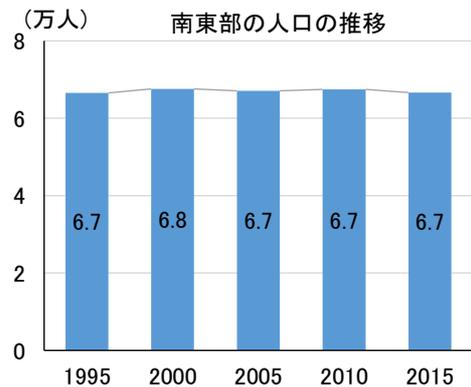
2) 地域の状況

① 人口の動向

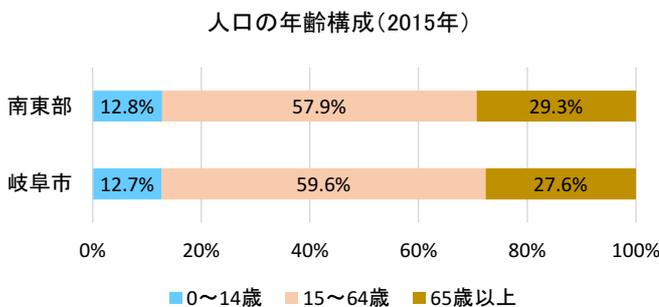
2015 年（平成 27 年）の人口は約 6.7 万人で、1995 年以降は増減を繰り返し、地域としては横ばいで推移しています。

地域の平均の人口密度は 19.8 人/ha（市平均 20.0 人/ha）です。地域南部の平坦地の幹線道路沿道や、国道 156 号の沿道、地域北部の住宅団地などに人口密度が比較的高い地区が分布しています。

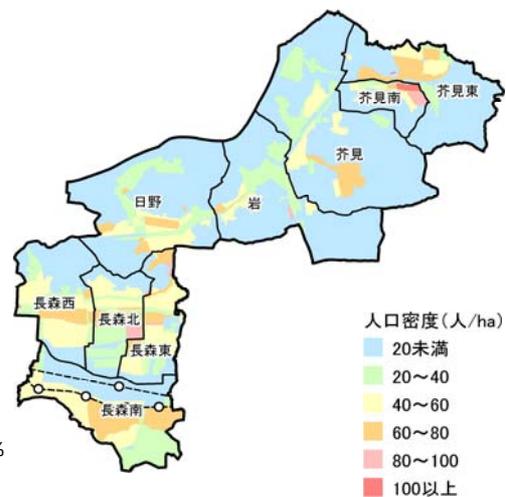
2015 年（平成 27 年）における 65 歳以上人口の割合は 29.3%で、5 地域のなかでは中央部（31.5%）に次いで高くなっています。



資料：国勢調査
調査区別の人口密度



資料：2015 年（平成 27 年）国勢調査

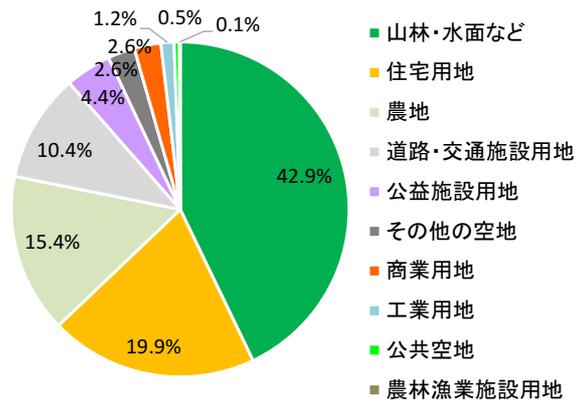


資料：2017 年度（平成 29 年度）都市計画基礎調査

② 土地利用の状況

地域面積の約 43%が山林・水面など、約 15%が農地となっており、地域の 6 割程度が自然的な土地利用となっています。

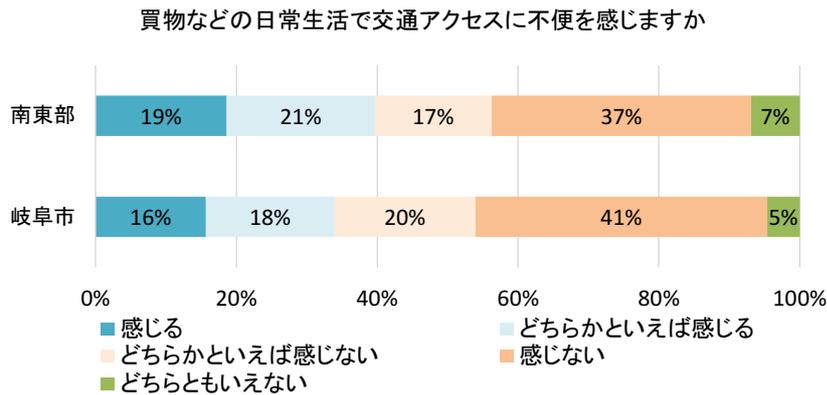
公共空地の割合は 0.5%で、5 地域のなかでは最も小さくなっています。



資料：2017 年度（平成 29 年度）都市計画基礎調査

③ 市民意識

買い物などの日常生活での交通アクセスについて、不便を感じている人及びどちらかといえば感じている人は合わせて約 40%で、北東部（同約 40%）とともに 5 地域のなかで最も多くなっています。



資料：2020 年度（令和 2 年度）市民意識調査

④ 地域資源

	資源
自然	長良川、境川、金華山、中将姫誓願桜、大洞のシデコブシ群落
史跡など	老洞・朝倉須恵器窯跡、郡上街道
寺社	願成寺、手力雄神社
公園・緑地	野一色公園、岩戸公園
祭・イベント	手力の火祭



野一色公園



中将姫誓願桜



手力の火祭

3) 地域の都市づくりの方向性

多様な交通基盤による市内外への高いアクセス性と、
豊かで美しい自然環境に囲まれた親しみを感じさせるまち

- 地域生活拠点に都市機能の集積を誘導して生活利便性を確保し、暮らしやすいまちを形成します。
- 長森駅周辺及び長山の交通結節機能を強化し、利便性の高い公共交通ネットワークを維持・形成するとともに、市民との協働により地域の移動手段を確保します。
- 豊かな自然や歴史・文化を大切にしまちづくりを進めます。
- 洪水や土砂災害などに対する防災・減災対策を官民の連携により推進し、災害に強いまちにします。

4) 地域の主要な都市づくりの方針

『拠点』の形成

自然・歴史・ 景観拠点	本物の自然・歴史・文化遺産や緑・川が堪能できる拠点 ○長良川、清水山、舟伏山など
交通結節点 促進拠点	トランジットセンター及びその周辺において、交通利便性の向上・充実 や利便施設などの維持・誘導を図る拠点 ○長森駅周辺 ○長山
地域生活拠点	生活を支える機能の集積を目指す拠点 ○国道 156 号と(都)祇園大洞線の交差部及びその周辺 ○長森西地区の(都)金町那加岩地線沿道

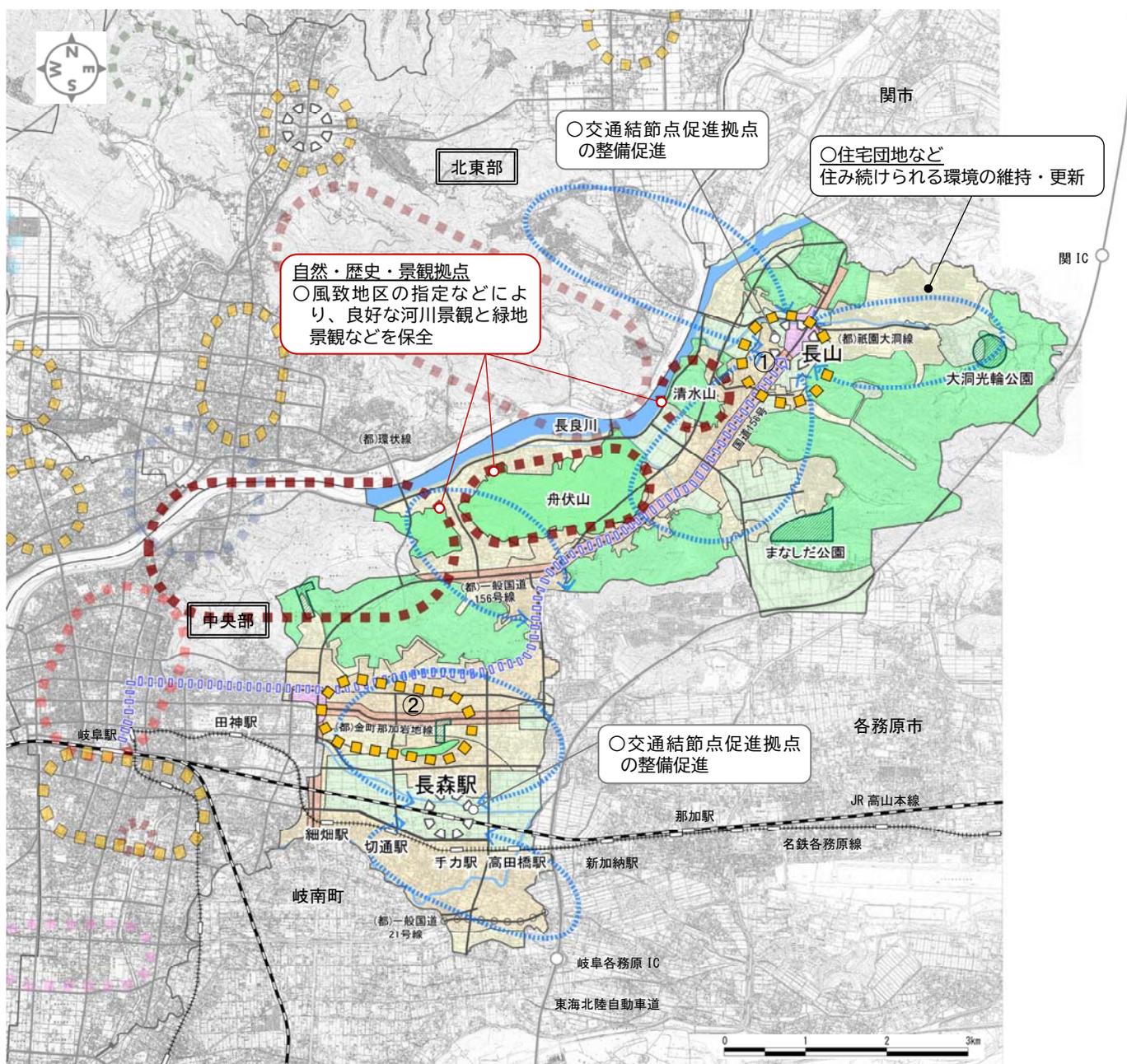
『軸』の形成

広域連携軸	○東海北陸自動車道、岐阜南部横断ハイウェイ、(仮称)岐阜環状道路
市街地・地域間 連携軸	○(都)環状線、(都)一般国道 21 号線、(都)一般国道 156 号線、 (都)金町那加岩地線
公共交通軸	○JR 高山本線(長森駅) ○名鉄各務原線(細畑駅、切通駅、手力駅、高田橋駅) ○JR 岐阜駅を起点とした幹線バス路線
自然環境軸	○長良川

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域生活拠点において生活利便施設などの機能集積を誘導し、生活利便性の確保を図ります。 ○長森駅周辺及び長山では、交通結節点促進拠点として、交通機能の向上に向けた整備などを検討します。 ○名鉄細畑駅、切通駅、手力駅、高田橋駅周辺は、交通の利便性を活かし、居住の誘導を図ります。 ○計画的に開発された住宅団地などでは、住み続けられる居住環境の維持・更新に努めます。 ○国道 156 号の沿道周辺などに形成されている住宅地では、地区計画などによる基盤強化を行い、良好な居住環境の整備を図ります。 ○鵜飼い大橋の南詰めの周辺地区において、金華山、長良川などの観光資源に配慮した居住環境の整備を図ります。 ○繊維、燃糸関係の工場の立地がみられる地区については、居住環境を保全しつつ地場産業の保護を図ります。 ○新荒田川周辺などに位置するまとまりある農地は、農業振興地域、及び遊水機能を有する地域として保全を図ります。 ○金華山や八幡山、清水山、三峰山などの森林保全を図るとともに、それぞれの環境特性に応じ、自然と親しむ場などとしての活用を図ります。
<p>道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国道 156 号の渋滞緩和による公共交通の支援や、東海環状自動車道などの広域道路網へのアクセス向上のため、(都)一般国道 156 号線の整備を図ります。 ○広域道路網や中心市街地へのアクセス向上、地域交通の充実のため、(都)芥見線や(都)金町那加岩地線などの整備を図ります。
<p>公共交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○長森駅周辺及び長山において、交通結節機能の維持・強化に努めます。 ○日常生活の移動の確保のため、地域住民が主体となり交通事業者と連携してコミュニティバスを運行しており、さらなる利便性向上を図るとともに、効率化に向けた新たな制度、最新技術などの導入を含めた検討を進めます。 <p><主要な交通結節点></p> <p>トランジットセンター：長森駅、長山</p> <p>拠点バス停：北一色</p>

公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や市街地周辺における山並みの良好な河川・緑地環境の保全を図ります。長良川、清水山、舟伏山、洞山については、風致地区の指定の維持などにより、保全を図ります。 ○多くの方々が利用するリフレ芥見や野一色公園、岩戸公園などの魅力増進を進めます。 ○都市公園などの緑地空間は、貴重なグリーンインフラであるとともに、災害時の避難場所としての防災機能を有しており、引き続き、保全及び整備を進めます。
自然環境 都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川をはじめとする自然環境や、中山道などの歴史・文化資源を活かした地域の取組と連携したまちづくりに努めます。
景観	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川や清水山、舟伏山などの自然豊かな美しい景観と眺望景観の保全・創出に努めます。 ○まなしだ公園について、風致の優れた緑地の整備を図ります。 ○中山道などの歴史的資源を活用した道路景観、計画的に開発された団地における住宅地景観、農地などの田園景観、権現山などにおける山地景観など、地域の特性に応じた景観形成に努めます。

南東部の都市づくりの方針図



<p>■拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然・歴史・景観拠点 ○長良川、清水山、舟伏山など 交通結節点促進拠点 ○長森駅周辺 ○長山 地域生活拠点 ①国道156号と(都)祇園大洞線の交差点及びその周辺 ②長森西地区の(都)金町那加岩地線沿道 	<p>■土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺住宅地区 郊外住宅地区 地域商業地区 沿道地区 農業地区 森林地区
<p>■軸</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路 幹線・環状バス コミュニティ交通 	<p>■都市施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な公園・緑地 河川